

株主・投資家の皆様へ

Business Report

第151期 中間報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで

証券コード：4021



日産化学株式会社

未来のための、はじめてをつくる。



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における国内景気は、新型コロナウイルス感染拡大影響により内需が急落、世界経済の落ち込みにより輸出も減少した結果、リーマンショック直後を上回り大幅に悪化しました。

当社グループの概況につきましては、化学品部門は、高純度硫酸（半導体用洗浄剤）の販売は増加したものの、メラミン（合板用接着剤原料等）の出荷が減少しました。機能性材料部門は、ディスプレイ材料では、「サンエバー」（液晶表示用材料ポリイミド）、半導体材料では、半導体用反射防止コーティング材（ARC[®]）および多層材料

（OptiStack[®]）が、増収となりました。農業化学品部門は、「アルテア」（水稻用除草剤）は順調に推移しましたが、フルララネル（動物用医薬品原薬）は減収となりました。医薬品部門は、「ファインテック」（医薬品技術開発型受託事業）は増収でしたが、「リバロ」（高コレステロール血症治療薬）原薬の販売は減少しました。

この結果、当中間期は、売上高、利益ともに前年同期を下回りましたが、中間配当金につきましては、1株当たり46円（前期中間配当金に比べ4円増配）とさせていただきます。

今年度の業績予想につきましては、足元の需要予測をもとに見直し、本年5月の公表値について、売上高は下方修正、営業利益、経常利益、当期純利益は上方修正いたしました。また、前年比では増収増益となる見通しとなっています。

新型コロナウイルス危機は1年程度では終息しないと考えられ、従来にも増して予測困難な経済環境のもとで事業活動を行うこととなります。当社グループでは、いかなる局面においても変化を確実に捉え、諸課題に対する施策を着実に実行することで、社会との相乗的発展の実現に向けて、全力を傾ける所存です。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長 木下 小次郎

※ ARC[®]、OptiStack[®]はBrewer Science, Inc. の登録商標です。

連結財務ハイライト

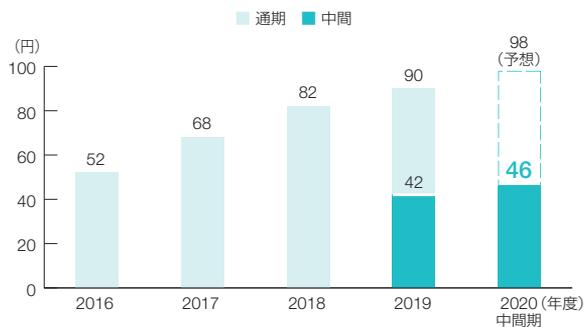
主要指標

		2016年度(通期)	2017年度(通期)	2018年度(通期)	2019年度(通期)	2020年度(中間)	2020年度(予想)
売上高	(百万円)	180,289	193,389	204,896	206,837	94,494	209,500
営業利益	(百万円)	31,438	34,988	37,091	38,647	17,980	40,300
経常利益	(百万円)	31,713	36,235	39,098	40,003	18,173	41,100
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	24,026	27,142	29,372	30,779	13,896	31,400
1株当たり配当金	(円)	52	68	82	90	46	98
売上高営業利益率	(%)	17.4	18.1	18.1	18.7	19.0	19.2
ROE	(%)	15.1	16.1	16.6	16.9	—	16.6
自己資本比率	(%)	69.9	71.0	73.0	73.7	81.3	—

売上高



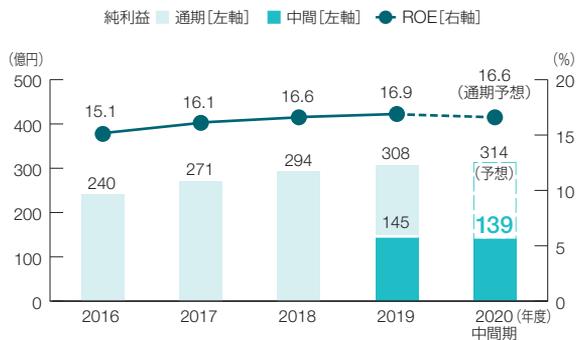
1株当たり配当金



営業利益 / 売上高営業利益率



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 / ROE



新規犬用チュアブル(経口投与製剤) 「BRAVECTO® 1-Month Chews」の米国での販売承認

当社は、Merck & Co., Inc.(メルク社)のアニマルヘルス事業部門であるMSD Animal Health社に、動物薬「ブラベクト®」の原薬フルラナネルを供給しております。

本年7月、MSD Animal Health社は、米国食品医薬局(FDA)が新しい犬用チュアブル(経口投与製剤)「BRAVECTO® 1-Month Chews」の米国での販売を承認したことを発表しました。「BRAVECTO® 1-Month Chews」はペット用外部寄生虫薬として販売している同社の「ブラベクト®」製品の対象年齢に加えて、8週齢以上の子犬にも処方することができる1ヵ月剤です。子

犬が成犬に成長する過程で、効果が約3ヵ月にわたって持続する「ブラベクト®」製品への切替えも容易です。

今後も、「ブラベクト®」製品のラインナップ拡大に伴い、フルラナネルの生産体制の強化、当社のノウハウを生かした安定供給に努めてまいります。

※「ブラベクト®」は、Merck & Co., Inc.の子会社である Intervet International B.V.の登録商標です。



「デジタル推進室」の新設

2020年7月、生産技術部内に「デジタル推進室」を新たに設置しました。今後、“人”の創造性を最大化した工場を目指し、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進に取り組んでまいります。

全工場へのデジタル化技術の導入により、全体最適化を見据えた横断的なシステムの導入が可能となり、個別検討のムダを極力排除

しDX推進を加速する効果が期待できます。まずは、データ活用のための基盤整備や、業務フロー上の単純作業を削減する技術を積極的に導入していきます。

当社は2030年の工場のあるべき姿を実現するため、最新技術の導入に今後も積極的に取り組んでまいります。

気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言に賛同を表明

金融安定理事会(FSB)により設置された気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD*)は、気候変動(地球温暖化)に関連する事業リスク・機会が財務に与える影響を財務報告において開示することを推奨する提言を2017年6月に公表しました。本年8月、当社はこのTCFD提言に賛同を表明しました。

当社は、環境エネルギー分野の課題解決に向けて、リチウムイオン電池用材料の研究開発などを実施しているほか、「2021年度までに温室効果ガス排出量を2013年度比20%削減」を目標

に掲げ、排出削減活動を推進しています。本年7月にはTCFD提言の推奨事項の1つである気候変動に関するシナリオ分析を開示しました。

今後も引き続き、これらの取り組みを充実させるとともに、TCFDの提言を踏まえ、その取り組みを情報開示していくことにより、社会の持続的発展に貢献してまいります。

※TCFD: Task Force on Climate-related Financial Disclosures の略



日本証券アナリスト協会

「ディスクロージャー優良企業(2020年度)」受賞

2020年10月、当社は、公益社団法人日本証券アナリスト協会主催の「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」において、2020年度「ディスクロージャー優良企業(化学・繊維部門第1位)」を受賞しました。

本選定は、企業ディスクロージャーの促進・向上を目的に、各業種の証券アナリストが企業のディスクロージャーの質、量、タイミングなどを評価し、業種ごとに優良企業を選定するものです。

当社は、経営陣の積極的なIR姿勢や、IR部門が適切に機能していること、説明会資料等で事業、

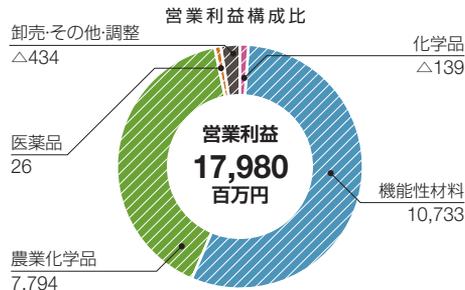
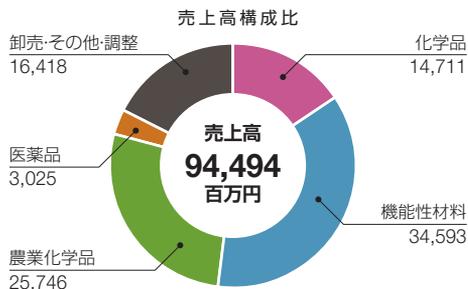
財務、株主還元等の情報が十分かつタイムリーに開示されていることなどが高く評価されました。

今後もディスクロージャーの更なる充実を追求し、ステークホルダーの皆様当社への理解を深めていただけるようIR活動に取り組んでまいります。



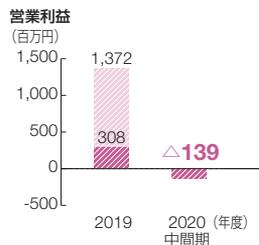
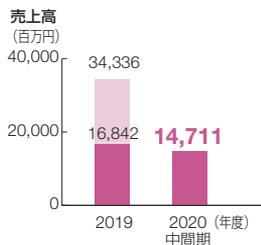
セグメント別営業の概況

2020年度中間期



化学品部門

売上高構成比：15.6%



基礎化学品では、高純度硫酸(半導体用洗浄剤)の販売は増加したものの、メラミン(合板用接着剤原料等)の出荷が減少しました。ファインケミカルでは、「デビック」(粉体塗料硬化剤、封止材等)、環境化学品(プール・浄化槽向け殺菌・消毒剤等)が減収となりました。

この結果、当部門の売上高は147億11百万円(前年同期比21億31百万円減)、営業損失は1億39百万円(同4億47百万円減益)となりました。業績予想比では、売上高は23億円、営業利益は13億円の下ぶれとなりました。



機能性材料部門

売上高構成比：36.6%



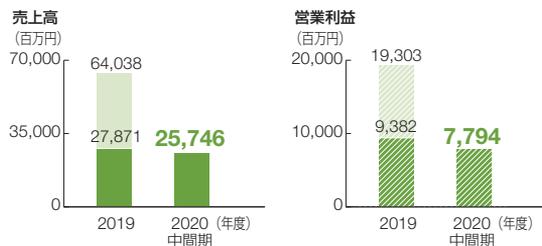
ディスプレイ材料では、「サンエパー」(液晶表示用材料ポリイミド)のタブレット、ノートPC向けが好調でした。半導体材料では、半導体用反射防止コーティング材(ARC®)および多層材料(OptiStack®)が顧客の稼働好調を受けて増収となりました。無機コロイドは、「スノーテックス」の電子材料用研磨剤向けが堅調でしたが、オイル&ガス材料(シールドオイル・ガス採掘効率向上材)の販売は減少しました。

この結果、当部門の売上高は345億93百万円(前年同期比32億5百万円増)、営業利益は107億33百万円(同23億84百万円増)となりました。業績予想比では、売上高は5億円、営業利益は20億円の増えとなりました。



※ARC®, OptiStack®はBrewer Science, Inc.の登録商標です。

農業化学品部門 売上高構成比：27.2%

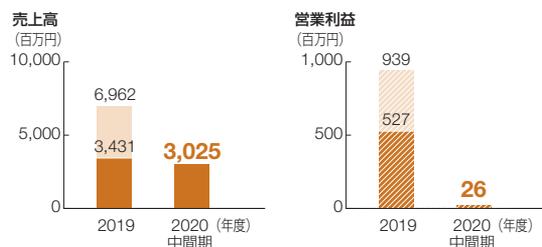


フルララネル(動物用医薬品原薬)は、顧客在庫影響等により減収となりました。国内向け農業は、「アルテア」(水稲用除草剤)は順調に推移しましたが、「グレーシア」(殺虫剤)は害虫発生が少なく出荷が減少しました。海外向け農業は、「グレーシア」および昨年第3四半期に買収した「クインテック」(殺菌剤)が堅調な売上となりました。

この結果、当部門の売上高は257億46百万円(前年同期比21億25百万円減)、営業利益は77億94百万円(同15億88百万円減)となりました。業績予想比では、売上高は3億円の下ぶれ、営業利益は11億円の上ぶれとなりました。



医薬品部門 売上高構成比：3.2%



「リバロ」(高コレステロール血症治療薬)原薬は、後発品の増勢の影響を受け、減収となりました。「ファインテック」では、ジェネリック原薬が増収となりました。

この結果、当部門の売上高は30億25百万円(前年同期比4億6百万円減)、営業利益は26百万円(同5億1百万円減)となりました。業績予想比では、売上高は2億円の上ぶれ、営業利益は1億円の下ぶれとなりました。

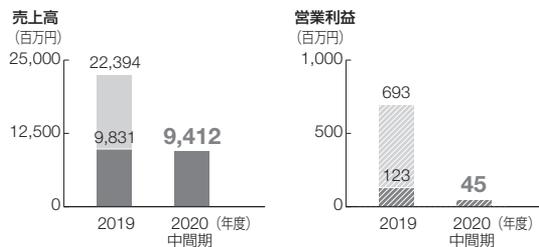


卸売部門 売上高構成比：35.7%



当部門の売上高は337億36百万円(前年同期比4億20百万円増)、営業利益は12億42百万円(同2億24百万円増)となりました。業績予想比では、売上高は7億円、営業利益は2億円の上ぶれとなりました。

その他の部門 売上高構成比：10.0%



当部門の売上高は94億12百万円(前年同期比4億18百万円減)、営業利益は45百万円(同77百万円減)となりました。

連結財務の状況

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期末 (2019年度)	当中間期末 (2020年度)
流動資産	154,196	132,156
現金及び預金	30,639	28,897
売上債権	72,509	49,073
たな卸資産	43,875	49,206
その他	7,172	4,979
固定資産	95,325	97,078
有形固定資産	51,581	51,183
無形固定資産	7,379	7,156
投資有価証券	30,873	33,941
その他	5,491	4,797
● 資産合計	249,522	229,234

科目	前期末 (2019年度)	当中間期末 (2020年度)
● 負債	63,993	41,260
買入負債	16,876	13,987
借入金	24,614	5,755
その他	22,502	21,516
● 純資産	185,528	187,974
株主資本	177,082	176,990
その他有価証券評価差額金	7,782	10,186
為替換算調整勘定	△896	△792
退職給付に係る調整累計額	△51	△47
非支配株主持分	1,610	1,637
負債・純資産合計	249,522	229,234
● 自己資本比率	73.7%	81.3%

貸借対照表のポイント

総資産は、売上債権が減少したことなどにより、前期末比202億87百万円減の2,292億34百万円となりました。

負債は、借入金が増加したことなどから、前期末比227億33百万円減の412億60百万円となりました。

また、**純資産**は前期末比24億46百万円増の1,879億74百万円となりました。この結果、**自己資本比率**は、前期末比7.6ポイント増加し81.3%となり、極めて堅固な財務基盤を維持しています。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前中間期 (2019年度)	当中間期 (2020年度)
● 売上高	96,466	94,494
● 営業利益	18,026	17,980
営業外損益	619	192
● 経常利益	18,646	18,173
特別損益	859	1,089
● 親会社株主に帰属する四半期純利益	14,523	13,896
売上高営業利益率	18.7%	19.0%
四半期包括利益	11,051	16,436

損益計算書のポイント

売上高、各利益ともに前年同期を下回ったものの、**営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、本年5月公表の業績予想を上回りました。**

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前中間期 (2019年度)	当中間期 (2020年度)
● 営業キャッシュ・フロー	31,936	33,629
税金等調整前四半期純利益	19,506	19,262
減価償却費	4,698	4,796
法人税等の支払	△4,285	△6,570
● 運転資金増減他	12,016	16,140
投資キャッシュ・フロー	△2,423	△2,585
設備投資	△4,175	△4,025
その他	1,752	1,439
財務キャッシュ・フロー	△33,449	△32,770
配当	△6,206	△6,990
借入金増減	△20,330	△18,778
● 自己株式取得	△6,799	△7,000
その他	△111	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	△376	△14
現金及び現金同等物の増減額	△4,312	△1,741
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,870	28,897

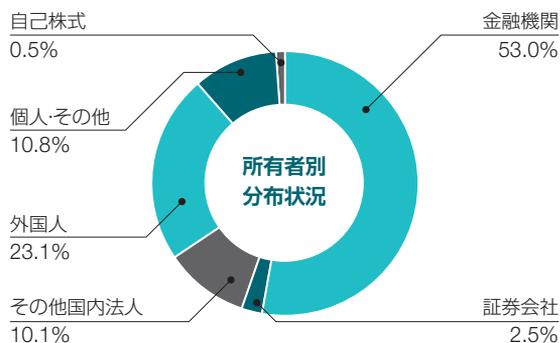
キャッシュ・フロー計算書のポイント

運転資金増減他は、売上債権の減少などにより、前年同期比41億23百万円増の161億40百万円の収入となりました。また、昨年同様、**株主還元のため自己株式の取得**を実施しました。

株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	360,000,000株
発行済株式の総数	145,000,000株*
株主数	10,859名

※自己株式690,460株を含みます。



大株主 (上位10名)

	持株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	28,198	19.5
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	12,320	8.5
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	7,209	5.0
農林中央金庫	4,800	3.3
日産化学 取引先持株会	3,892	2.7
株式会社日本カストディ銀行(証券投資信託口)	2,578	1.8
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	2,259	1.6
JP MORGAN CHASE BANK 385781	2,245	1.6
明治安田生命保険相互会社	1,861	1.3
日産化学従業員持株会	1,785	1.2

(注)出資比率は発行済株式数から自己株式(690千株)を控除して算出しております。

役員 (2020年9月30日現在)

代表取締役 取締役社長	木下 小次郎
取締役副社長	宮崎 純一
取締役 専務執行役員	八木 晋介
取締役 常務執行役員	宮地 克明
取締役 常務執行役員	本田 卓
取締役 常務執行役員	鈴木 周
取締役(*1)	大江 忠
取締役(*1)	大林 秀仁
取締役(*1)	片岡 一則
常勤監査役(*2)	鈴木 規弘
常勤監査役(*2)	竹本 秀一
常勤監査役	鬼塚 博
監査役(*2)	片山 典之
常務執行役員	三宅 敏郎
常務執行役員	吉田 洋憲
常務執行役員	石川 元明
執行役員	浜本 悟
執行役員	生頼 一彦
執行役員	吉田 元
執行役員	高子 康
執行役員	遠藤 秀幸
執行役員	野村 正文
執行役員	松岡 健
執行役員	佐藤 祐二
執行役員	畑 利幸
執行役員	大門 秀樹

(*1)社外取締役 (*2)社外監査役

会社概要

商号	日産化学株式会社 NISSAN CHEMICAL CORPORATION
本社	〒103-6119 東京都中央区日本橋二丁目5番1号 電話(03)4463-8111
創業	1887年4月
設立	1921年4月
資本金	18,942百万円
従業員数	2,699名(連結)
ホームページ	https://www.nissanchem.co.jp/ (IR情報はホームページからもご覧になれます。)

事業所

営業拠点	札幌、仙台、名古屋、大阪、広島、福岡
工場	袖ヶ浦工場、埼玉工場、富山工場、名古屋工場、小野田工場
研究所	物質科学研究所(千葉)、材料科学研究所(千葉、富山)、生物科学研究所(埼玉)

グループ会社

国内	■ 日星産業株式会社 …… 化学品等の販売、保険代理業、不動産業
	■ 日産物流株式会社 …… 運送業
	■ 日産緑化株式会社 …… 造園、土木、緑化工事等の設計・施工
	■ 日産エンジニアリング株式会社 …… プラントエンジニアリング
	■ 日本肥糧株式会社 …… 肥料の製造・販売
	■ サンアグロ株式会社 …… 肥料の製造・販売
	■ NCアグロ函館株式会社 …… 農薬の製造
	■ クラリアント触媒株式会社 …… 工業用触媒の製造・販売
海外	■ Nissan Chemical America Corporation …… 無機コロイド製品の製造・販売
	■ Nissan Chemical Europe S.A.S. …… 農薬の販売
	■ NCK Co., Ltd. …… ディスプレイ材料・半導体材料の製造・販売
	■ Nissan Chemical Agro Korea Ltd. …… 農薬の販売
	■ 台湾日産化学股份有限公司 …… ディスプレイ材料・半導体材料の研究開発・販売支援
	■ 日産化学制品(上海)有限公司 …… 農薬の販売支援・普及サービス
	■ 日産化学材料科技(苏州)有限公司 …… 機能性材料の研究開発・販売支援・普及サービス
	■ Nissan Chemical Do Brasil …… 農薬の販売支援・普及サービス
	■ Nissan Agro Tech India Private Limited …… 農薬の販売支援・普及サービス
	■ Nissan Bharat Rasayan Private Limited …… 農薬原体の製造・輸出

株主メモ

事業年度

毎年4月1日～翌年3月31日

定時株主総会

毎年6月

基準日

定時株主総会・期末配当：毎年3月31日

中間配当：毎年9月30日

公告方法

電子公告 (<https://www.nissanchem.co.jp/>)

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

1単元の株式の数

100株

上場証券取引所

東京証券取引所 市場第一部

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先・電話お問合せ先

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

0120-782-031 (フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座に記録されました株主様は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金のお支払いについて

三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

IR情報はホームページからもご覧になれます。

<https://www.nissanchem.co.jp/>

日産化学

検索

